

# SSH全校講演会

## 見過されてきた生物たちが織り成す

### 森と川の生態系

6月1日(月)、川越市市民会館大ホールにおいて、神戸大学大学院准教授の佐藤拓哉先生をお招きし、SSH全校講演会が行われた。佐藤先生の研究分野である「畜生虫」が生態系でどのような意味をなすのかを、研究方法の開発を交えて紹介して下さった。数ヶ月前にこもり、研究装置の開発を行ったエピソードは非常に興味深いものであり、生徒は話に聞き入っていた。また、ハリガネムシがコオロギから出てくる映像を見た生徒からは、驚きの声が上がった。



佐藤拓哉先生

今回の講演会では、TEDの講演会での英語プレゼンテーションを視聴する初の試みも行われた。英語のスピーチは生徒の刺激になったであろう。

佐藤先生の実体験を基に研究とは何かを知ることができ、生徒にとって今後の研究活動に生かすことができる講演会であったと思われる。実際アンケートでは約8割もの生徒が面白かったと回答した。

○生徒の感想

- ・ 寄生虫の大きな発見も佐藤先生の小さな疑問から生まれた事に驚いた。
- ・ 研究の発表には英語力が必要だと改めて思った。

# SSH1学年講演会

## 科学と非科学の間

6月8日(月) 毎年恒例の安齋育郎先生による1学年講演会が行われた。スプーン曲げから始まった講演に生徒は引き付けられた様子で、科学に騙されないためにはどうすれば良いか考えることができるようになったのではないかと。



安齋育郎先生

○生徒の感想

- ・ 科学とは何なのか？
- ・ そして本当であるかを常に自分でよく考える事の大切さを教えられた。
- ・ 科学(科学的命題)と非科学(価値的命題) — 人間の心について常に意識し分けて考えるようにしたいと思った。

# 未来館プレゼンテーション実習

6月6日(土) 東京お台場の日本科学未来館においてプレゼンテーション実習を実施した。1年生48名と2年生スタッフ10名が参加した。

テーマを決めて展示の前でプレゼンを行い、それを引率教員と2年生の指導係が評価する形で行った。経験豊富な2年生の助言のもと、1年生は事前に練習を何度も重ねて本番に臨み、熱心に取り組む姿が印象的であった。初めは人前で話すことが苦手であった生徒も、短期間で見違えるように上達した。1年生からは「受験問題を解くのは異なる、人に伝えることの難しさを感じた」との声があがり、2年生も後輩に指導する経験を通じてさらに腕に磨きがかかった様子であった。教員にとっては改めて自らの授業実践を振り返る機会となった。「調べる、質問する、まとめる、発表する」とことは研究者に限らず将来どの分野に進んでも必要な技術。生徒・教員共に伝える力を伸ばすきっかけとなった。

# ハワイ島実習生活動開始

ハワイ島実習生8名がらゆるスキルを伸ばすべく、本格的な事前学習がスタートした。

1年H組藤井詩音くんに意気込みを聞いた。

主に昼休みを使って行われる事前学習では、研究テーマ決め等を行い、研究能力や英語能力を高めることを目標としている。また、未来館実習や電子顕微鏡講座などに参加し、あ

「川越高校では、科学に関するイベントが数多くあり、その中でもハワイ島実習は特に大きいものです。その中でもハワイ島実習は特に大きいものです。」

のです。この実習に参加する8人は僕も含めて小さいころから科学に対して興味があり、この実習を希望してここに至っています。そして将来に向けて研究能力やプレゼンテーション能力など、様々な力をつけたいという気持ちも8人の共通意識です。しかし、中には文化祭実行委員会や生徒会などの仕事を受けもっている人もいます。それでも、SSHのリーダー的存在として周りからも認められるように頑張りたいと思っていますので、よろしく願います。」